

まちづくり交付金 事後評価シート  
下笠居地区

平成21年12月

香川県高松市

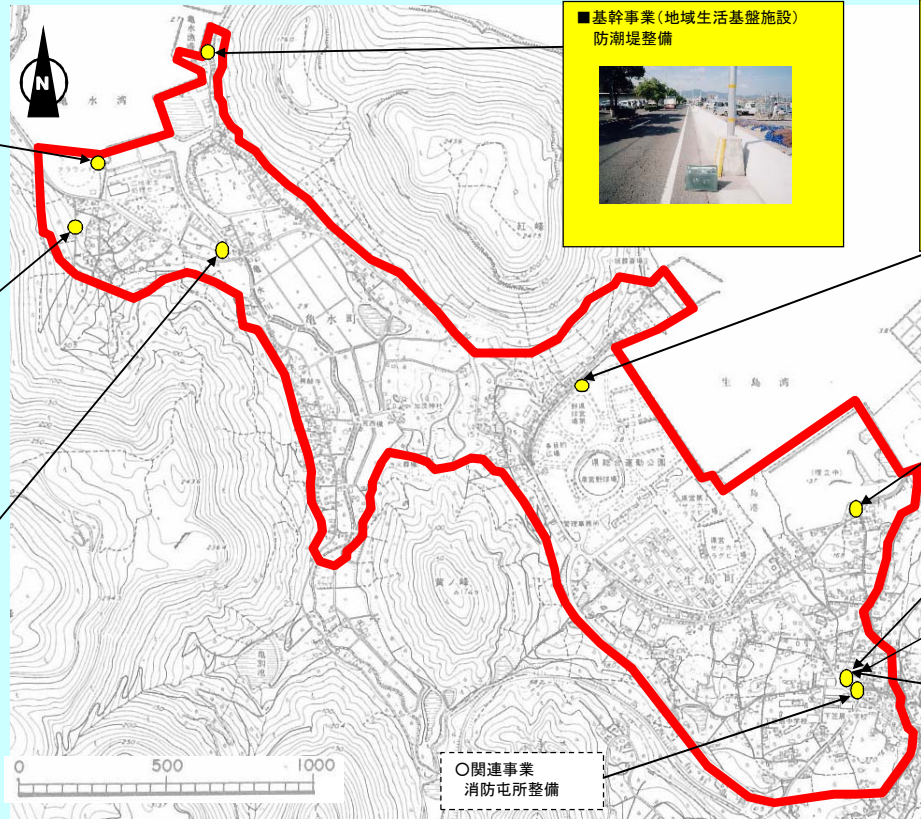
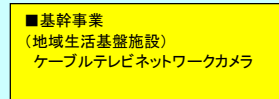
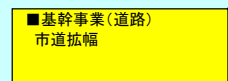
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	香川県		市町村名	高松市		地区名	下笠居地区			面積	250 ha		
交付期間	平成19年度～平成21年度		事後評価実施時期	平成21年度		交付対象事業費	424百万円		国費率	0.442			
1)事業の実施状況	事業名												
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	道路:市道亀水3,4号線拡幅,地域生活基盤施設:耐震性貯水槽設置,避難施設案内板設置,ケーブルテレビネットワークカメラ設置,高次都市施設:下笠居コミュニティセンター整備										
		提案事業	地域創造支援事業:防潮堤整備,水門改修,逆流防止弁設置										
	当初計画から削除した事業	事業名			削除/追加の理由				削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
		基幹事業	なし										
		提案事業	地域創造支援事業:防潮堤整備,水門改修,逆流防止弁設置			提案事業から基幹事業へ変更したため。				なし			
新たに追加した事業		基幹事業	地域創造支援事業:防潮堤整備,水門改修,逆流防止弁設置			提案事業から基幹事業へ変更したため。				なし			
提案事業	なし												
交付期間の変更	当初	平成19年度～平成21年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		なし							
	変更	なし											
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	指標1	下笠居地区コミュニティ協議会によるコミュニティセンターの利用者数	人/年	177	H18	212	H21	—	180	△	あり なし	● ● 平成22年5月	
	指標2	自主防災組織の加入率世帯	%	79.4 (1,957世帯)	H18	90 (2,218世帯)	H21	—	78.2	×	あり なし	● ● 平成22年5月	
	指標3	既往最高潮位(高松港2.46m(160年確立規模))に対する浸水面積	m <sup>2</sup>	312,000	H18	254,000	H21	—	254,000	○	あり なし	● ● —	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	その他の数値指標1	自主防災組織が実施した防災研修の参加人数	人	70	H18	/	/	—	146	/	/	● ● —	
4)定性的な効果発現状況	コミュニティセンター整備基本構想に地域住民が携わることで、地域コミュニティに対する関心が高まり、地域コミュニティが活性化され、まちづくりの機運が高まったとともに、防災施設の整備により、地域住民の満足度が上がった。												
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									
	住民参加プロセス	地域住民により構成する下笠居地区コミュニティ協議会がワークショップ等を開催し、下笠居コミュニティセンター整備基本構想(案)を作成し、市に提出した。		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● ● 今後も継続して行うことで地域コミュニティ活動の活性化を図りたい。					
	持続的なまちづくり体制の構築	下笠居地区コミュニティ協議会が中心となって、地域のコミュニティプラン(まちづくり計画)を策定し、防災活動をはじめとした継続的なまちづくり活動を図る。		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● ● 地域コミュニティプランに沿ってまちづくりを進め、災害に強いまちづくりを實踐したい。					

## 様式2-2 地区の概要

### 下笠居地区(高松県高松市) まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標		目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
大目標	市民との協働による災害に強いまちづくりの推進	下笠居地区コミュニティ協議会によるコミュニティセンターの利用者数	単位: 人/年 177	H18 212	H21 180
目標1	平成16,17年度の台風による水害および近年、大災害が予想されている南海地震等による被害を未然に防止するため、防災設備を整える。	自主防災組織の加入率	単位: % 79.4	H18 90.0	H21 78.2
目標2	災害時に被害を最小限に抑えるためには住民相互の助け合いや日頃の防災活動が必要不可欠であることから、地域住民が自主的かつ主体的に参画して地域の共通の課題に取り組む地域コミュニティの活性化を図る。	既往最高潮位(高松港2.46メートル(160年確立規模))に対する浸水面積	単位: m <sup>2</sup> 312,000	H18 254,000	H21 254,000
		自主防災組織が実施した防災研修の参加人数	単位: 人 70	H18 -	H21 146



○関連事業  
消防屯所整備

まちの課題の変化 防災施設やコミュニティセンターが整備されたことにより、災害発生時の高潮からの被害軽減や住民の避難経路の確保、地域コミュニティの活性化が図られたが、道路において未整備の箇所があり、今後整備をしていく必要がある。また、今回の事業を広く地域住民に周知し、自主防災や地域コミュニティ活動への関心をさらに高めていかなければならない。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む) 地域住民による持続的なまちづくり活動の支援  
下笠居地区コミュニティ協議会によるまちづくり活動のさらなる活性化を図るため、ホームページ(高松市地域コミュニティ協議会情報「コミネット高松」内)による情報発信の支援を行うとともに、高松市における地域コミュニティ組織により構成される高松市コミュニティ協議会連合会において地域コミュニティ組織の自立促進および活動促進の手法について研究する。